


質疑・一般質問

12月7日、8日、9日の本会議では、21人の議員が登壇し、新型コロナウイルス感染症対策などについて市の見解を求めました。発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は2面から5面に掲載しています。

なお、QRコードを読み取ると本会議の録画映像をご覧いただけます。



発言者一覧

— 発言順 — () は会派名

- 松井 久美子 (公明党)**
①リカレント教育と生涯学習の支援 ②HPV(子宮頸がん予防)ワクチンの定期接種の状況 ③災害に備えた神戸地方気象台との連携
- 森 勝子 (維新の会)**
①子供達の教育 ②認知症患者と家族への支援
- 大西 洋紀 (未来明石)**
①議案第103号 令和2年度明石市一般会計補正予算(第8号)「こども医療費助成事業費」
- 三好 宏 (自民党 真誠会・代表質問)**
①新型コロナウイルス感染症の影響 ②明石市公設地方卸売市場の再整備 ③石ヶ谷スマートインターチェンジと明石テクノパーク
- 国出 拓志 (公明党)**
①20代、30代の施策
- 筒泉 寿一 (維新の会)**
①環境問題に対する取組 ②高齢者施策の在り方
- 丸谷 聡子 (未来明石)**
①工場緑地面積率の緩和の議論が出ている明石市の緑のあり方 ②市立幼稚園における特別支援の体制 ③こどもの命を真ん中にした「こどもの居場所」づくり
- 石井 宏法 (自民党 真誠会)**
①明石の豊かで美しい海の実現 ②SDGsの取組 ③市民まつり
- 尾倉 あき子 (公明党)**
①「認知症にやさしいまち明石」の推進 ②新型コロナウイルス感染拡大第3波の地域経済に与える影響と今後の支援
- 北川 貴則 (維新の会)**
①コロナに負けない生活支援 ②福祉の充実 ③「日本一安全なまち明石」の実現のための危機管理
- 井藤 圭順 (自民党 真誠会)**
①中学校コミュニティセンター ②子ども・子育て支援事業
- 飯田 伸子 (公明党)**
①新型コロナウイルスワクチン接種体制の整備 ②障害者支援
- 林 健太 (自民党 真誠会)**
①LINEを活用したデジタル行政の推進 ②学校施設
- 辰巳 浩司 (自民党 真誠会)**
①コロナ禍における地域経済の動向と対応 ②自転車を活用したにぎわいづくり
- 坂口 光男 (自民党 真誠会)**
①高齢者福祉 ②地域コミュニティの醸成
- 楠本 美紀 (日本共産党)**
①介護保険サービスの充実で誰もが安心して暮らせる老後を ②無料低額診療事業 ③保育所待機児童解消
- 吉田 秀夫 (フォーラム明石)**
①明石市の高齢者・障害者福祉の充実 ②新型コロナウイルス感染症に対する医療体制の拡充 ③ひとり親への雇用の提供
- 林 丸美 (明石かがやきネット)**
①子育てのまちとしての魅力を高める自然環境整備 ②新型コロナウイルス禍における地域の医療・検査体制
- 家根谷 敦子 (スマイル会)**
①安全安心なまちづくりのさらなる推進 ②高齢者・障害者施策 ③副籍制度
- 辻本 達也 (日本共産党)**
①こども医療費助成 ②公文書の管理と情報公開 ③高丘小中一貫校と30人学級 ④新型コロナウイルス感染症対策
- 竹内 きよ子 (明石かがやきネット)**
①自殺予防の取組 ②新型コロナウイルス禍の教育現場における子供たちのびのびと学校生活を送ることができる環境整備

豊かな海を取り戻す 放流水の窒素濃度を倍増 環境保全と両立

問 明石の豊かな海を取り戻すため、海の栄養塩類を増やす取り組みとして、大久保浄化センターで行っている下水処理水の栄養塩類管理運転について、状況を問う。

答 市では、令和2年9月議会に明石の豊かで美しい海の実現に関する請願が採択されたことを受け、河川管理を行う兵庫県等と環境基準点の移転について協



明石の魚食文化を守る豊かな海へ

議したが、移転しても水質基準は変わらないため、処理水に含まれる栄養塩類を大幅に増やせないことを確認した。

そこで、本市の公共用水域における環境基準達成状況の評価方法を見直し、水の汚れの指標となるBOD測定値について、窒素系成分を対象から外し水の汚れの成分のみを測定し削減していく方法に変更することとした。これにより同センター

エリアマネージャーを配置して 中学校区コミセンの機能強化

今後引き続き、生活環境の保全と豊かな海づくりの両立を目指し、できることは積極的に取り組む考えだ。

問 一部の中学校区コミセンに所長に換えてエリアマネージャーを配

置しているが、その成果と今後の取り組みを聞く。

コロナ禍で雇用情勢が悪化 社会人の学び直しの需要高まる 市も学習への支援を進める

問 働き方改革やコロナ禍における雇用情勢の悪化によりリカレント教育(社会人の学び直し)への需要が高まっている。リカレント教育に対する支援が必要と考えるが、市の見解を問う。

支給するなどの支援をしている。市もリカレント教育の重要性とコロナ禍における雇用情勢を認識しており、具体的な取り組みとして、再就職を希望する女性への就労相談や、現在は就業していない保育士の有資格者を対象に再就職を促すための講習や保育現場での実習などを



ウィズあかしのリカレント教育コーナー

鳥インフルエンザ 県と連携した支援 予防対策を徹底

問 令和2年11月に淡路市の養鶏場で県内初となる鳥インフルエンザの感染が確認された。本市において発生した場合の対応を聞く。

答 鳥インフルエンザは渡り鳥などの野鳥やそのふんに接したネズミなどを介して養鶏場を持ち込まれる。市は、鳥インフルエンザウイルスが原因で死亡した野鳥がいまいか監視するとともに市内2カ所の養鶏農家に対し野鳥やネズミの侵入防止、農場内外の消毒等の衛生管理徹底を指導している。また、発生時の役割について総合安全対策室を中心に関係部

局が再確認し、臨戦態勢で臨んでいる。今後、鳥インフルエンザが確認された場合は、県と連携して殺処分や防疫作業等の人員を派遣するなど養鶏農家への支援を行う。現在、市内や東播磨県民局管内で死亡した野鳥からウイルスは確認されていないが、淡路市で発生したことから強い危機感を持って予防対策に取り組んでいく。



4月から全校区に配置